

災害時協力井戸を行政と協力して取り組んでいこう

～ (一社)全さく協中央支部 第 51 回通常総会開催される ～

一般社団法人全国さく井協会中央支部は令和 7 年 5 月 15 日、静岡市中島屋グランドホテルで第 51 回通常総会を開催し、令和 6 年度事業報告と決算、令和 7 年度事業計画及び予算を承認した。

総会の冒頭、若林直樹支部長は、昨年 12 月に逝去された足立敏之会長の生前の功績に感謝するとともに哀悼の意を表した。また、中央支部会員各位の協力を得て、創立 50 周年式典及びいい井戸の日を盛会裏に終了したことの謝辞を述べた後「今年 3 月に内閣府より災害時地下水利用ガイドラインが公表され、湧水と地下水の利用が明確に記された。中央支部としても行政と協力して取り組む必要がある。担い手不足については、2035 年問題を見据えて早めに対応し、若い人に対し働くことの喜びを見出してもらえるよう働きかけ、DX や現場の安全衛生対策など環境整備にも注力していく」とし、会員に引き続きの支援を呼びかけた。



挨拶する若林直樹支部長



総会会場

総会終了後、営業研修会が行われ、(株)日さく、(株)トラフィックレンタリース、(株)ティクス TSK、(株)ナガオカ、ジオテクサービス(株)、(株)日高システム、(株)ミサキの 7 社が自社の誇る技術・製品を紹介した。

講演会は、静岡学園中・高等学校名誉校長 松村龍夫先生より「自分らしく生きるとは」と題して、私立学校での

教育・経営を担ってきた経験を踏まえ、生徒・父兄・文部省(当時)との体験談を中心に、公立校と私学校との違いから多くの困難を経験したからこそ得ることができた教訓を心温まるエピソードとともに話され、充実した時間となった。



講演する松村龍夫先生

総会終了後 43 名の参加で懇親会を開催し、久保田恭史理事の発声で乾杯し、歓談に入った。懇親会は大いに盛り上がり、瞬く間に終了時刻を迎えた。

最後に中央支部の益々の発展を祈念し、今回で退任する岡崎憲明事務局長の手締めで散会とした。

翌 16 日は絶好のゴルフ日和、富嶽カントリークラブで 11 名の参加で懇親ゴルフコンペを行った。遠藤計氏(株)PEC がグロス 95、ハンデ 21.6、ネット 73.4 で優勝された。

総会に、ゴルフに参加された皆様、おつかれさまでした。厚く感謝申し上げます。